



かるがも



第46号

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo>

2017年〈平成29年〉5月

新年度を迎えて

新年度となり幹部職員に若干の異動がありましたので、ご報告いたします。副病院長に伊藤千秋が、技監(病院長補佐)に青墳裕之が、医療局長に中島弘道が、診療部長に仲野敦子が就任しました。医療安全管理室長は伊藤副病院長が、地域医療連携室長は中島医療局長が務めます。また、3年にわたり看護局長を務めた尾出真理子に変わり、高井孝子を看護局長に迎えました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度こども病院では、日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審しました。2002年に初回の認定をうけてから5年ごと今回で4回目の受審です。医師、看護師、栄養師、薬剤師などの多くの職種の職員が、情報を共有してチーム医療を行っているか、治療方針などについて十分に説明と同意が得られているか、患者家族に対する支援体制はしっかりしているか、医療安全管理、感染予防対策などの体制は十分かなど、実際の入院患者さんの記録も用いて、2日間にわたって5名のサーベイヤー(審査委員)に隅から隅まで審査していただきました。3月末に届いた中間報告書では、いくつかの項目において最高のS評価をいただき、無事、審査を

病院長 星岡 明



パスすることができました。これまで、職員一同、こどもと家族を第一に考える医療、チーム医療を実践してきたことが評価されたものと思います。

また、3月には患者満足度調査を行いました。これは、外来患者さんと入院患者さんのご家族を対象に、毎年1回、同じ時期に行っているものです。職員の説明や対応、医療や看護の内容、病院の設備などについてご意見をいただきました。多くの項目で前年度よりもよい結果でしたが、待ち時間や設備等について改善すべきご意見などもいただきました。この結果は、病院のホームページと外来に掲示いたします。

今後も、院内、院外からご指摘いただいた点を改善し、さらに質の高い医療、安全安心の医療、皆様から信頼され満足していただける医療の実現にむけて、職員一同努力してまいりますので、今年度もご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成29年5月

診療科紹介 感染症科

感染症科 部長
星野 直



感染症科では、commonな感染症から集中治療を要するような重症感染症まで、さまざまな感染症の診療を行っています。また、他科に通院・入院中のお子様の感染症診療もサポートしています。感染症科の外来は月曜（午前）、水曜（午前、午後）、金曜（午前）となっていますが、急患につきましては外来日以外にも対応しています。外部の医療機関からのご相談にもできるだけ対応させていただきますので、お困りの症例がございましたらご連絡ください。

当院は、千葉県予防接種センターに指定されており、接種要注意者への予防接種や、予防接種に関する医療相談を実施しています。予防接種外来は毎週月曜午後で、医療相談は随時受け付けております。手術を控えたお子様につきましては、かかりつけ医での予防接種をお願いすることがあります。当院では、

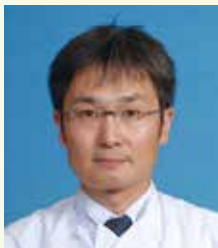
不活化ワクチンは手術2日前まで、生ワクチンは3週間前まで接種可能としておりますので、接種へのご協力をお願いいたします。なお、術後はワクチンの種類を問わず1週間後から接種可能です。

昨今、市中感染症における耐性菌の蔓延、多剤耐性菌の増加が見られるなど、耐性菌が社会問題化しています。耐性菌を増やさないため、そして数少ない抗菌薬を末長く用いていくためには、抗菌薬を適切に用いることが必要です。当科では、抗菌薬管理プログラムを通じて、全病院的な抗菌薬適正使用を推進しています。また、このような耐性菌から子供たちを守るために、感染対策チーム（ICT）の一員として、院内感染の予防に努めています。

このように、近年は感染症診療における予防や感染管理の重要性が増していますが、これらを充実させるためには人材の育成が欠かせません。当院は、日本感染症学会専門医制度の認定研修施設となっており、2名の感染症専門医（うち1名は指導医）のもと、感染症専門医を目指す若手医師の研修を行っています。新たに始まる日本小児感染症学会認定指導医（専門医）教育研修プログラムにも参加しており、小児感染症専門医を目指した研修も可能となる予定です。

診療科紹介 小児外科

小児科 主任医長
光永 哲也



【はじめに】小児外科の対象疾患は、鼠径ヘルニアや急性虫垂炎などの一般外科疾患、腸閉鎖や鎖肛などの新生児外科疾患、神経芽腫などの小児悪性固形腫瘍の3つに大きく分けられます。臓器別では呼吸器から食道・胃腸、肝胆膵など多岐にわたるのが特徴です。当科は1988年の開設以来、千葉県の小児外科基幹施設として診療に当たってまいりました。今年度は岩井（指導医）、光永（専門医）、大野、吉澤の女性医師を含めた4名で診療いたします。

【外来診療】幅広い対象疾患に対応するため、指導医、専門医があたります。あたたかい診療と患児・ご家族への適切な説明を心がけております。

【手術】2016年の全麻手術件数は332件で、鏡視下手術は43件、新生児症例が11例でした。岩井と光永は日本小児外科学会の評議員です。国内はもとより国際学会への参加や学術発表も積極的にっており、先進的な医療技術の導入に努めています。一般診療では、これらの中で標準治療とされているものを適切に提供することを心がけています。

【救急医療】2016年は61件の緊急手術を行いました。救急疾患や新生児外科疾患に対しては24時間のオンコール体制をとっています。小児外科医の診察を要すると判断された場合はお断りすることなく対応いたします。

【おわりに】当院は小児専門病院であり、一般病院で対応が難しい様々な合併症を持つ患児でも手術が可能です。また当院は完全看護であり、入院中のご家族の付き添いは不要ですが、希望される場合は付き添うこともできます。県立病院として、千葉県のこどもが適切な外科診療を受けられるよう、日々努力しております。本年度もよろしくお願いいたします。

研修会・公開講座のお知らせ

●第9回小児臨床症例研究会

日 時：平成29年6月28日（水）
19:30～21:00

会 場：千葉県こども病院第一会議室

《ご紹介いただいた患者様の症例報告》

神経内科『ビデオ脳波同時記録によるてんかん発作の紹介』

《小児診療における各科のポイント》

眼科『本当は怖い眼症状』

NST(栄養サポートチーム)『症例でわかる栄養障害の予防と治療』

●訪問看護ステーション公開講座

日 時：平成29年7月11日（火）
17:45～19:30

会 場：千葉県こども病院第一会議室

テーマ：「効果的な肺ケア～スクイーミングの実際～」

●第5回 夏休み難聴勉強会

日 時：平成29年8月4日（金）
15:30～17:00

会 場：千葉県こども病院第一会議室

講 演：人口聴覚器医療は大きく変わる
～最新の情報と今後の展望～

講 師：国際医療福祉大学三田病院
耳鼻咽喉科 教授 岩崎聡先生

●第17回 千葉県こども病院県民公開講座

日 時：平成29年9月3日（日）
14:00～16:00

会 場：きぼーる13階 千葉市ビジネス支援センター 会議室

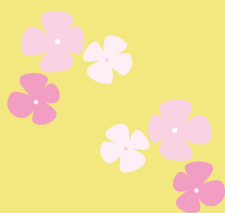
千葉市中央区中央4丁目5番1号

京成電鉄千葉中央駅 徒歩5分

テーマ：「病気をもつ子どもの未来を支えよう～成人期へ向けて～」

千葉県こども病院 医療局長 中島弘道

千葉県循環器病センター 小児看護認定看護師 水野芳子



〈千葉県こども病院 登録医のご紹介〉

あべひろきこどもクリニック

〒264-0028 千葉県千葉市若葉区桜木3-9-28
TEL 043-234-2022 FAX 043-234-2021

あべひろきこどもクリニックの阿部博紀です。病院の先生方、地域の先生方には、常日ごろより大変お世話になっております。

私は、地域の子どもたちの成長と元気を支えたいと千葉県若葉区桜木で平成8年に開業しました。当院は、加曽利貝塚正門のごく近くで、ちょっとわかりにくい所にあります。保護者の方には、短く「アベクリ」と呼ばれ、親しまれて(?)おります。

普通の小児科診療をする特徴のないクリニックですので、子どもに嫌われないように、子どもの治る力を邪魔しないようにと思ひ、ときには近隣の皮膚科、眼科、耳鼻科の先生と連携させていただきながら診療を行ってきました。

子育て初心者のお母さんお父さんにとって病気はもちろん、ちょっとした体調の変化にも神経質になってしまう気持ちに寄り添い、ときには病院の先生方への橋渡しをすることが大切な仕事だと思っております。

診療時間 9時～11時30分
15時～17時30分
14時から15時は
予防接種、健診

休診日 水曜日、土曜日午後、
日曜日、祝祭日



阿部院長

医学の進歩の早さに危機感を抱きカンファレンスに参加させていただいております。毎回最新の情報をいただける上に、「どうぞ紹介してください」とやさしく言っていただけることには、感謝しています。

当院は小児科年齢のみを診療対象としているため、高校生になると卒業していきますが、その子どもたちがいつの間にか親になり、子どもを連れて来院してもらえ、そんな年月開業医をしてきました。求められている医療を提供できるように、これからも努力していきたいと思ひます。

今後ともよろしく願ひいたします。



あべひろきこどもクリニック 外観

きくちこどもクリニック

〒266-0033 千葉県千葉市緑区おゆみ野南6丁目2-4
TEL 043-300-2003 FAX 043-300-2082

きくちこどもクリニックの菊地俊実です。千葉市緑区に開業して12年、おゆみ野南に移転して7年になります。クリニックの建物は2012年の「千葉市都市文化賞(建築部門)」を受賞しました。柔らかなフォルムで暖かさ・やさしさを表現しつつ、院内感染にも配慮した構造になっています。待合室や診察室にはやなせたかし氏のジークレー版画が展示されており、プチ美術館の雰囲気を感じることが出来ます。診療の中身が建物に負けてはいけません。当院のモットーは「笑顔で子育て応援します」です。来院した子どもたちとご家族の不安が和らぎ、「元気度アップ！」して帰ることができるよう、スタッフ一同頑張っています。日々の診療で心がけていることの一つは「抗菌薬(抗生剤)の適正使用」です。発熱で来院する子どもたちのほとんどはウイルス感染症(いわゆる風邪)ですから、抗菌薬は不要です。当院でも溶連菌性の咽頭炎やごく一部の急性中耳炎などには抗菌薬を処方することがありますが、その場合は抗菌薬の必要性をきちんと説明するようにしています。比

診療時間 9時～12時
14時～18時
月・木 14時～15時 乳児健診
火・金 14時～15時30分 予防接種

休診日 水曜日、土曜日午後、
日曜日、祝祭日



菊地院長

較的軽症の食物アレルギー児への食物負荷テストも行っています。たとえ少量でも「ここまでなら食べられるよ」という具体的なラインをお示しすることができれば、安心につながります。乳幼児健診に「視力スクリーニング」を取り入れているのも特徴の一つです。器機を導入してまだ半年ですが、数例こども病院に紹介しています。これからも地域の子どもたちの成長・発達を、ご家族と共に見守り続けていきたいと願っています。



きくちこどもクリニック 外観



きくちこどもクリニック 内観